

# 令和5年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	北陸地方防災エキスパート制度運営	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	災害に対する安全・安心推進事業	分類名 (中項目)	防災活動支援事業			事業区分	講座、セミナー、育成

## 1. 事業目的

災害時の支援を通じて、災害に強い安全・安心な社会の構築に寄与することを目的として、防災業務の応援に関する国との協定に基づく北陸地方防災エキスパートの活動を主に、災害時の対応や平常時の研修等、活動全般にわたる支援を実施する。

## 2. 事業実施体制

- ・北陸地方防災エキスパート登録者 381名 (R5.7.26現在)
- ・そのうち、災害時支援活動の一層の充実を目的として組織された  
専門防災エキスパート 223名 (R5.7.26現在)
- ・事務局: 一般社団法人 北陸地域づくり協会

## 3. 事業実施概要

令和5年度の災害時における各種対応支援として、7月前線豪雨による小矢部川(富山県)の被災、12, 1月の豪雪、そして元日に発生した能登半島地震では主に半島先端の自治体へ多数のエキスパートが出動した。  
また、防災訓練等以下平常時の活動は、コロナ禍以前の状況に復調した。

活動区分		参加人数 (延べ)	摘要
災害支援活動に参加		174	77機会
防災訓練等に参加		26	10機会
国交省との意見交換、講習会等に参加	現地巡検・意見交換会等	319	53機会
	講習会等出席	57	3機会
	その他(運営委員会等)	27	7機会
計		603	

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

北陸地方防災エキスパートは発足した平成8年以降、北陸地方で発生した災害(蒲原沢土石流災害、新潟県中越地震・中越沖地震、能登半島地震、R1東日本台風など)において出動実績を持ち、その災害対応、復旧活動支援等の取り組みに対し、行政から感謝状を授与されるなど高い評価を得ている。  
今年度は元日に発生した能登半島地震で広域からのべ150名超の派遣を行ったほか、7月の前線豪雨、12, 1月の雪害対応と多数の災害時出動を記録した。また、コロナ禍ではやや低調だった平常時の活動も元に戻り、災害時出動と合わせ、得られた課題・教訓を今後の活動に活かしていくものである。



- 災害時活動  
上・中: 震災対応支援  
(現地調査助言等)  
下: 雪害対応支援  
(情報収集等)



- 平常時活動  
上: 水防工法演習での指導  
下: 国土交通省との合同現場巡視